

# 健康で文化的な生活を保障する政治に

みんなの力で  
変えよう！

日本共産党は、国会で生活保護法から生活保障法への改正案を提案。また雇用契約の法改正の悪用を許さず、契約期間を伴わない安定雇用の実現に奮闘しています。3月議会は平成30年度の予算を審議する重要な議会です。一般質問だけにとどまらず、市議会から国会及び政府、県に対する意見書案を7本提出するなど、党市議団が実施しているアンケートに寄せられた市民の声を市政に届け、要求実現に頑張る決意です。受け皿のないまま大規模な呼び込み型開発がすすんでいる流山市では、様々な問題が噴出。一方、市議会是一般質問の持ち時間10分短縮を決定（共産党は反対）。市政を監視する議会の役割を自ら放棄したものと見え、市民の期待にどう応えるのかが問われています。

会期	2月15日～3月19日	33日間
	(議案37件、請願・陳情3件、発議11件他)	
2月	15日(木) 本会議 午後1時開議	
	20日(火) ～23日(金)	一般質問 午前10時～
	26日(月) 総務委員会	
	27日(火) 教育福祉委員会	
	28日(水) 市民経済委員会	
3月	1日(木) 都市建設委員会	
	5日(月) ～7日(水)、9日(金)	予算審査特別委員会 小田桐議員担当
	19日(月) 本会議 午後1時開議	議案・陳情・意見書など採択

## 一般質問

小田桐たかし議員 2月21日(水) 午後1時半頃

- 1、市長の政治姿勢について  
①生活保護について  
②非婚家庭の保育料へのみなし控除適用について
- 2、教育行政について  
①48学級を超える小中学校について、県教委が導入拡大してきた少人数学級をやめ、国の規定(1学級40人)に戻すとした方針について  
②保護者説明会同様に、おたかの森駅周辺で児童が急増している各小学校の教職員に説明会を実施すべきではないか。  
③新設中学校について
- 3、初石駅東口改札について

いづみ紳一郎議員 2月21日(水) 午後3時半頃

- 1、「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」が発表した「原発ゼロ法案」について市長見解を問う。
- 2、教育行政について  
①教育委員会の想定では、平成35年度におたかの森地域周辺で35学級～51学級もの過大規模校が4校できることになるが、一人一人の子どもたちに

向き合った教育が出来るかと考えているのか。

- ②過大規模校が集中する地域で予想される教育の困難を緩和するために、さらに1校の小学校を建設する方針を打ち出すべきではないか。
- 3、まちづくりについて  
①県施行の土地区画整理事業について  
ア、木地区の事業計画変更について  
イ、運動公園地区の進捗について  
②下花輪自治会が要望している市道拡張について

徳増きよ子議員 2月23日(木) 午前10時

- 1、今後、米海兵隊のオスプレイの県内配備の増強や本市上空での飛行も増加しかねないが、市長の見解を問う。  
2、水道行政について  
①寒い日が続く中で水道管が破裂する事案が市内各地で起きているが、自然災害の場合は、水道料金の減免制度等を設ける必要があるのではないかと。水道料金の滞納は生活困窮の度合いを表す重要な指標といえる。滞納世帯に対する福祉的アプローチを強める横断的取り組みが必要ではないか。
- 3、労働行政について  
①市内小中学校における教職員の労働環境について改善すべきだがどうか。

植田和子議員 2月23日(木) 午前10時40分頃

- 1、「市民が主役」のまちづくりについて  
①新川耕地の開発に関して  
ア、物流センター建設に係わって開発事業者と市民の協議の場をつくるために開発事業者に働きかける考えはあるか。  
②「流山市は夜暗い」との声を多く聞くが、防犯灯の設置を増やすべきではないか。
- ③江戸川台東地区のまちづくりについて  
ア、ジェトロ江戸川台職員宿舍跡地利用について  
イ、築60年となる江戸川台小学校をはじめとした老朽校舎の改築・改修問題について  
2、社会保障後退から市民のくらしを守る事について  
①税金や国保料の滞納者数は減少傾向だが、差し押さえ件数は増加傾向にある。その理由はなぜか。  
②滞納者の相談に対する市担当者の対応について「問題はない」という認識か。
- 3、子どもの福祉について  
①保育士配置基準の緩和する国の方針は許されないかどうか  
②大規模学童の実態について

去る2月3日、日本共産党元流山市議の妹尾七重さんが死去されました。晩年は民生委員として、また「生活と健康を守る会」会長として、生活困窮の相談、貧困の解消、人権擁護等に奮闘されてきました。ここに心よりご冥福をお祈り申し上げます。